

Title	川口實教授略歴；主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1992
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.65, No.12 (1992. 12) ,p.465- 467
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	川口實教授退職記念号
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19921228-0465">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19921228-0465</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

川口 實 教授 略歴

昭和三年一月一三日生

昭和二六年三月

慶應義塾大学法学部法律学科卒業

昭和二九年三月

同大学院法学研究科修士課程民法学専攻修了

昭和二九年四月

同大学法学部助手

昭和三四年四月

同助教授

昭和三七年九月より

アメリカ合衆国（イリノイ大学及びハーバード大学）留学

昭和三九年一〇月

慶應義塾大学法学部教授

昭和四一年四月

同大学院法学研究科委員

昭和四七年三月

学位請求論文「労働協約と就業規則の研究」で法学博士の学位を受ける

平成四年三月

選択定年により慶應義塾大学を退職

平成四年四月

慶應義塾大学名誉教授

平成四年四月

北陸大学法学部教授・法学部長

現に、中央労働委員会公益委員

川口 實 教授 主要著作目録

一、著作

- 【労働争議】 日本労働協会 昭和四五年九月
- 【特殊雇用関係】 労働法実務体系一五、総合労働研究所 昭和四九年四月
- 【労働協約】 日本労働協会 昭和六一年一二月

二、編著

- 【労働争訟の課題と展望】(西山俊彦、原島克己と共編) 昭和五二年一二月

三、主要論文

- 「就業規則の本質をめぐる問題点」 日本労働法学会誌一〇号 昭和三二年四月
- 「ドイツ労働協約法における『有利の原則(Günstigkeitsprinzip)』について」 慶應義塾大学創立百年記念論集法学部第一部 昭和三三年一月
- 「違法争議行為と懲戒」 季刊労働法三二号 昭和三四年六月
- 「解雇の法理―就業規則論との関係において」 季刊労働法四〇号 昭和三六年六月

- 「公務員および公共企業体等職員の労働組合」 労働法大系 I 昭和三八年一月
- 「労働協約の法源性」 法学研究三八卷三号 昭和四〇年三月
- 「労働協約の法的性質」 日本労働法学会編・新労働法講座五卷 昭和四一年一月
- 「労働協約の効力」 日本労働法学会編・新労働法講座五卷 昭和四一年一月
- 「同情スト」 日本労働法学会編・新労働法講座四卷 昭和四二年四月
- 「法解釈の一基準」 日本法哲学会・法哲学年報「法の解釈と運用基準」 昭和四三年四月
- 「無協約状態と労働契約関係」 法学研究四二卷三号 昭和四四年三月
- 「就業規則の一方的変更」秋北バス事件・最高裁大法廷判決をめぐって」 法学研究四三卷四号 昭和四五年四月
- 「三六協定と超過労働義務の根拠」 峯村教授還暦記念論集・法哲学と社会法の理論 昭和四六年六月
- 「争議行為に対する責任追求としての懲戒処分(一)」「(四)」 法学研究四四卷九号一、二号 昭和四六年九月一、二月
- 「就業規則の本質をめぐる若干の問題点」 法学研究四五卷二号 昭和四七年二月
- 「労働基本権制限の法理(一)」「(六)」 判例タイムズ三〇六、三〇七、三二五、三二四、三二九、三三三、三三三三号 昭和四九年六月一、昭和五一年六月
- 「労働法学と隣接社会諸科学との方法論的関連」 日本労働法学会誌四八号 昭和五一年一〇月
- 「就業規則と労働契約」 法学研究五〇卷一号 昭和五二年一月
- 「就業規則の一方的変更と「合理性」の基準」 法学研究五四卷一号 昭和五六年一月
- 「リボン等の着用戦術と使用者の対抗手段」労働委員会における判断」 慶應義塾大学創立一二五年記念論文集法学部法律学関係 昭和五八年一月
- 「労働協約の工場・事業場における一般拘束力の制度の趣旨」 稲垣教授古希記念論集 昭和六一年五月
- 「労働協約の工場・事業場における一般的拘束力の制度と判例の動向および問題点」 法学研究五九卷一二号 昭和六一年一月
- 「労働時間法制等の整備と今後の課題」 ジュリスト七八号 昭和六二年二月
- 「日本人の労働観」 法律のひろば四四卷一二号 平成三年一月